

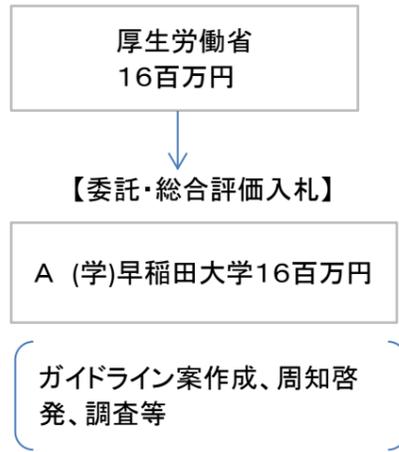
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	教育訓練サービス分野における国際標準化等の動向を踏まえた労働市場インフラの整備に係る総合的取組事業		担当部局庁	職業能力開発局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～平成23年度		担当課室	総務課基盤整備室	基盤整備室長大津英喜		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-1-5 若年者のキャリア形成を支援する			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	公的職業訓練の質の保証及び向上、民間教育訓練機関の自発的な質の保証及び向上の支援、民間教育訓練機関を労働政策の資源として用いる場合の質の保証及び確保等のツールとして、教育訓練サービス分野における国際規格ISO29990及び我が国の教育訓練の実情を踏まえた具体的な「民間職業訓練機関サービスガイドライン」の策定等を行うことを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	教育訓練サービスの質の保証及び向上に関する協議会を委託先に設置し、ガイドライン案の策定に資するための調査、ガイドライン案の検討、ガイドライン案の試験的運用、ガイドラインの周知及び啓発等を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算		26	21		
		補正予算					
		繰越し等					
	計		26	21			
	執行額		20	16			
執行率(%)		77%	76%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	民間職業訓練機関サービスガイドラインの策定等に資するための情報収集等を行う事業であり、何らかの数値目標を設定することにはなじまない。	成果実績	-				
		達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	報告書作成部数	活動実績(当初見込み)	部数		400 (400)	150 (150)	
単位当たりコスト	109,145(円/部数)		算出根拠	平成23年度執行額÷報告書部数			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 状・ 予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・公的職業訓練の担い手として、民間教育訓練機関の果たす役割が益々大きくなっていることから、同機関の質の向上を図ることは、優先度が高いといえる。 ・一般競争入札(総合評価落札方式)の結果、落札額が予定価格よりも低額であったため、予算額に比べ、不用額が過大となっている。
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金 の 流れ 、 費目 ・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札(総合評価落札方式)により委託先を選定しており、問題ないと認識している。 ・単位当たりコストは昨年に比し増加したが、報告書の印刷部数を削減した結果であり、コストの削減には努めている。 ・精算報告書等により費目・使途が事業目的に必要なものに限定されているか確認している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動 実績 、 成果 実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書は当初予定配付数を配布しており、活動実績は妥当と認識している。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果	報告書の印刷部数を減らすことにより、資源やコストの無駄を省いた。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—		—
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		—
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	865

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(学)早稲田大学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員人件費	11.6			
諸謝金	委員等謝金	1.5			
印刷費	会議資料等印刷費	1.1			
その他	通信運搬費、会議費、旅費等	1.0			
管理費	光熱水費等	0.4			
消費税		0.8			
計		16.4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(学)早稲田大学	ガイドライン案作成、周知啓発、調査等	16	1	86.8